

SIFA ニュース



NO. 77

2013年 春号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

青少年ベルフォンテン市派遣事業 参加者募集！！

毎年恒例となりました、鈴鹿市と友好都市である、アメリカオハイオ州ベルフォンテン市でのホームステイ体験！！今年も中学生・高校生を対象に行います。

今年は、まずアメリカの首都であり、政治の中心地であるワシントンD.C.を訪れます。派遣事業としては実に7年ぶりのワシントン訪問です。連邦議会議事堂やリンカーン記念堂、スミソニアン博物館や航空宇宙博物館・自然史博物館などを見学し、日頃、ニュースの中で目にする様々な景色を自分の目で見、身近に感じていただきます。

ベルフォンテン市では、友好都市の人々との交流を通して、アメリカの生活や文化を身近に学びます。

今年は、ベルフォンテン市で新しく建設中の中学校を訪問し、同年代の学生達と交流する予定です。アメリカと日本の学校制度の違いなどを学びながら、日本の文化の紹介もする予定です。

若いうちから国際感覚を養い、価値観の違う世界で異文化体験することは、人生において大変貴重なことです。いずれは地域の多文化共生の橋渡しが出来人材となれるよう、旅立つ前から様々な研修を積み、仲間としての絆も深めていきます。

参加費用の約半分は市が負担します。お近くに対象の学生さんがいらっしゃいましたら是非お声がけいただけますよう、よろしくお願い致します。

内 容

おしらせ

○青少年ベルフォンテン市派遣事業

○日本語ボランティア養成講座

○わいわい春まつり

○平成25年度 事業計画報告

○公益法人に移行しました

○学習ボランティア養成講座

○鈴国大に支援物資

派遣期間 : 平成25年8月7日(水)から8月13日(火)までの7日間

派遣先 : ベルフォンテン市(オハイオ州)、ワシントンD.C.

募集人数 : 12人(選考試験により参加者を決定します)

参加負担金 : 175,000円 [渡航費の約半分は鈴鹿市より助成を受けています]

(但し、燃油サーチャージ上昇分及び旅券取得などに要する個人的な費用は別途必要となります。)

参加資格 : 鈴鹿市内に在住する中学生、高校生又は高等専門学校生(3年生まで)、もしくはそれと同年齢の者。ただし、過去に一度参加したことのある生徒は応募できません。

応募方法 : 参加申込書(鈴鹿国際交流協会事務所及びホームページ、市内公立中学校・高校、市役所、図書館にあります)に必要事項を記入の上、5月10日(金)(必着)までに(公財)鈴鹿国際交流協会事務局へ郵送又は持参して下さい。

※応募者が10名に満たない場合は、この事業を中止します。

[選考試験]

★筆記試験&面接試験

5月19日(日)

10:00~17:00(予定)

市役所12階 会議室

*応募者数によっては、午後からとなる場合があります。

アメリカ オハイオ州 ベルフォンテン市

鈴鹿市と1991年に友好協定を締結しており、この事業でこれまでに409名の生徒を派遣しました。

ベルフォンテンは、フランス語で「美しい泉」を意味します。ローガン郡の郡庁所在地であり、人口は13,370人。アメリカ発のコンクリート道路が有名です。とうもろこし畑など、自然が豊かでとても穏やかな町です。

日本語ボランティア養成講座

今まで日本語を教えたことがなくても、外国語が話せなくても大丈夫です。日本語教室では、日本語で日本語を教えます。日本語を教えることを通して、在住外国人と交流しませんか。

と き:5月18日(土)~6月22日(土)毎週土曜日

13:30~16:40

と ころ:ジェフリー鈴鹿

対 象 :出来る限り全講座に出席でき、
日本語支援活動にも参加できる方。

講 師:松葉先生、吉田先生、八木先生(日本語教師)

受 講 料:一般 6,000 円 賛助会員 3,000 円

(賛助会員には、いつでも加入できます。)

募集人数:20名(応募者多数の場合は抽選)

協 力:鈴鹿日本語会 AIUEO、桜島日本語教室、牧田いろは教室

応募方法:4月25日(木)(当日必着)までに、はがき、E-mail、又は Fax に郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入して鈴鹿国際交流協会まで



H24年度の講座の様子

とと日本語教室ってどんなところ???

市内には、3つの日本語教室があり、週に一度のペースで、運営されています。学習者は、以前はブラジルやペルーといった南米からの方がほとんどでしたが、今では約半分がアジア圏の方になってきています。アジア圏の方は、研修生であったり、日本人の配偶者であったりします。

学習者の目的も様々で、日本語能力試験を受けたいという方から、日本語は全く話せないので会話を覚えたいという方までいます。日本語教室は、学習者に日本の生活情報を伝える役割も担っています。また、会話を通して学習者の母国の文化を聞く機会にもなります。

国際交流フェスタ2013

わいわい春まつり

今年もわいわい春まつりの季節がやって参りました！いろいろな国の音楽あり、ダンスあり、体験ありと、一日中楽しむことができます。おなかがすいたら、世界の料理を堪能できます。ご家族やご友人とお誘いあわせの上、ご来場ください。



と き:4月21日(日) 10:00~16:00

と ころ:鈴鹿ハンター&弁天山公園

内 容:最新のものはお以下のとおりです。

センターコート ホンダダンボールクラフト、わいわい色あそび、インターナショナルカフェ、

サブコート 国際交流活動団体のパネル展示、民族衣装試着体験、似顔絵(有料)

屋外ステージ フラダンス、カポエイラ、フィリピン音楽、フォルクローレ、コリアン民族舞踊、ラテン音楽、和太鼓、ベリーダンス、フラメンコ、ズンバ、ゴスペル、マーロンドダンス、サンバ

国際屋台村 ブラジル、ペルー、中国、インド、トルコ、韓国、ベトナム、日本

ブース出展 ペルー民芸品、ブラジル小物、モロッコ民芸品、フェアトレード、世界の野菜即売、コーヒーサービス、アメリカコーナー

弁天山公園 日本の昔の遊び、国際フリーマーケット、キッズ自転車トライアルデモ&一本橋体験
※天候等により、内容が変わる場合があります。

平成 25 年度 鈴鹿国際交流協会の事業計画

① 地域レベルでの国際交流の促進・国際理解事業

・青少年ベルフォンテン市派遣事業

鈴鹿市の友好都市である米国オハイオ州ベルフォンテン市へ、中学生及び高校生を派遣し、両市の友好親善を図ると共に生徒の国際感覚を養うことを目的に実施します。

・国際理解セミナー

諸外国の歴史、伝統文化、国民性等を学びます。

・国際理解料理講座

料理を通じて、諸外国の文化や多様性を学びます。

② 多文化共生推進事業

・共生社会推進イベント（わいわい春まつり）

ボランティア会員、団体、NPO 等と連携し、共生社会推進へのイベントを開催します。

・協会ホームページ

ホームページに協会が実施する海外友好都市交流事業、研修啓発事業、活動支援事業、共生推進事業等のイベント情報や会員募集等の情報を掲載します。

・SIFA ニュース

協会役員、賛助会員及びボランティア会員向けに、協会の事業や予算等の報告と各会員や協会が行う各種事業の活動状況等を広報します。

・日本語講座

市内在住外国人のニーズに応え、日本語能力試験 N4、N3、N2 に対応した講座を開催します。

・在住外国人向け広報紙（マンスリーすずか）の発行

日本語、ポルトガル語及びスペイン語版の広報紙を発行します。

・すずかのせいかつテキスト作成

市内日本語教室のスタッフと連携して鈴鹿での日常生活に即した内容のテキストを作成し、日本語教室での学習に役立てます。

・留学生等への支援

市内の大学への留学生向けに、SIFA ニュースを通じて会員や市民から生活物資の提供を募り、支援します。

③ 人材の育成及び市民活動等の支援事業

・日本語指導者研修事業

日本語学習を希望する外国人住民の学習機会を維持・拡充するため、日本語ボランティア養成講座を開催します。

・学習支援指導者研修事業

公立小中学校や地域の学習支援教室等で学習する児童生徒への学習支援者の育成を目的としたボランティア養成講座を開催します。

・国際交流等を実施する団体への助成

協会賛助会員が国際交流・国際親善・多文化共生等を目的とする活動をするに際し、協会が申請を受けた場合は、審査の上 1 団体 10 万円を限度に支援します。

・社会福祉協議会等との連携

社会福祉協議会が実施する多文化共生推進活動や国際交流機関・団体との事業協働や支援をします。

※事業の実施時期等詳細については、随時協会ホームページや SIFA ニュースでお知らせしていきます。

公益財団法人へ移行しました

財団法人鈴鹿国際交流協会は、この4月1日より公益財団法人鈴鹿国際交流協会として新たな一歩を踏み出しました。前身の協会ができたころは、市内に住む外国人も1,000人程度と少なく、主に海外の友好都市との交流を目的としていました。その後時代は変わり、今日では、7,400名以上の外国人が鈴鹿に住み、各産業を支えています。このような状況を踏まえ当協会は、①国際交流の促進、②多文化共生の推進、③1、2を推進するための人づくりや他団体との連携を3本柱に据え、これから前進していきます。3ページの事業計画をご覧くださいと分かりますが、今年度から事業計画をこの3つに分けています。

「公益」の冠が付くということは、これまで以上に市民の皆様の期待を受け止める役割を担うこととなります。世界情勢がめまぐるしく変わる中、国際化の波は止まらず、むしろ大きな潮流となっています。市民の皆さまのより近くで、そして一緒に様々な事業に取り組んでいきたいと考えていますので、どうか、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学習支援ボランティア養成講座を開催しました!!!

教育委員会日本語コーディネーターの杉谷先生を講師に招き、2月の各木曜日に学習支援ボランティア養成講座を実施しました。今回参加者は、5名と少数でしたが、休まれる方もほとんどなく、とてもアットホームに開催できました。

まず、鈴鹿市の現状について様々なデータを見ながら考えました。いまでは、ほとんどの小中学校に外国にルーツを持つ子供がいることや、外国人人口が減少していても公立小中学校に通う外国籍の子ども数は、増えていることを知りました。1,990年の入管法改正以来、教育現場では様々な試みがなされてきましたが、鈴鹿市では学校間の連携を密にし、子どものレベルに合わせてリライトされた教材を作成しています。また、教材を使って音読の指導をするときに指さし読みで文字をきちんと読むことを覚えてから、はさみ読みで言葉・文章読みでリズムを体得していく方法を学びました。他にも、漢字の指導方法を基にオリジナル教材を作成したり、算数の指導についても学びました。子どもへの支援について興味のある方は、協会までご連絡ください。



鈴鹿国際大学の留学生に支援物資を届けました!



2月中に会員の皆さまやボランティアさんに頂いた支援物資を、3月21日(木)に鈴鹿国際大学へ届けました。

今年もたくさんの物品が寄せられました。鍋類、食器、小鉢、スプーン・フォークのセット、傘、シャンプー・リンス、石鹸、タオル、砂糖・油、バッグ、ブランケットなどなど・・・

学内にいた留学生さん達にも立ち会ってもらい、協会事務局長の島村から、鈴鹿国際大学のクマール学長補佐に贈呈いたしました。

みなさんの温かい気持ちから寄せられた支援物資が、日本で新たな生活をスタートする彼らの役に立てば嬉しいです。鈴鹿に来て良かったと思い、さらに学業に励んでもらえるといいですね。

公益財団法人鈴鹿国際交流協会

〒513-0801 鈴鹿市神戸1-18-18 市民会館正面玄関西

TEL : 059-383-0724 FAX : 059-383-0639 ✉ sifa@mecha.ne.jp

URL : <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>